

第3節 警防課

〔総括概要〕

警防課の主な分掌事務は、火災や災害を警戒、鎮圧し排除するための警防対策、消防計画、他の消防機関との相互応援協定、緊急消防援助隊、消防車両の整備及び配置管理、安全運転管理、救急事務、救急医療情報、救急救命士の養成教育、メディカルコントロール事務、救急車両及び救急資器材の整備・配置管理等である。

警防業務では、複雑かつ多種多様化する災害発生時において、市民の生命、身体及び財産を守るための消防計画の策定、高度で有効な消防活動が展開できるよう消防車両・消防資機材の維持管理及び更新等を行った。

救急管理業務では、増加傾向にある救急事案に対応するため、プレホスピタルケア（病院前救護）体制の構築、メディカルコントロール（医学的観点から救急隊員が行う応急処置等の質を保証）での事後検証及び救急救命士の養成及び教育を行っているほか、高規格救急自動車及び救急資器材の整備等を行うと共に、救急出動時において、適切な病院選定が可能となる救急医療情報端末を救急車に整備した。

また、心肺停止傷病者の蘇生率向上を目的とした住民に対する応急手当普及啓発活動に力を入れるため、救命講習会に必要な資器材を導入し多くの受講者を受け入れることに努めた。

警防係

1 消防車両現勢

所属	車名	メーカー	年式	備考
栃木市消防本部	庁用車	ニッサン	平成7	
	総務連絡車	トヨタ	平成10	
	査察広報車	〃	平成20	
	予防広報車	ニッサン	平成11	
	予防連絡車	スズキ	平成20	
栃木市消防署	普通ポンプ車	いすゞ	平成25	水槽 600 ℓ
	水槽付ポンプ車	〃	平成10	水槽 2,500 ℓ
	化学車	日野	平成19	水槽 1,500 ℓ 薬液 500 ℓ
	梯子車	〃	平成5	30m級
	救助工作車	いすゞ	平成9	クレーン、ウインチ、照明装置付
	災害支援車	〃	平成25	
	救急車	トヨタ	平成24	高規格
	〃	〃	平成26	〃
	〃	〃	平成22	〃
	指令車	〃	平成9	

	栃木広報車	〃	平成 15	
	防火号	ニッサン	平成 24	
	物資搬送車	マツダ	平成 21	
大平分署	普通ポンプ車	いすゞ	平成 10	
	化学車	日野	平成 19	水槽 1,500 ℓ 薬液 300 ℓ
	救急車	トヨタ	平成 21	高規格
	大平広報車	〃	平成 21	
藤岡分署	普通ポンプ車	いすゞ	平成 20	
	水槽付ポンプ車	〃	平成 11	水槽 1,500 ℓ
	救急車	トヨタ	平成 25	高規格
	藤岡広報車	〃	平成 20	
都賀分署	普通ポンプ車	いすゞ	平成 11	
	水槽付ポンプ車	〃	平成 25	水槽 1,500 ℓ
	救急車	トヨタ	平成 18	高規格
	都賀広報車	〃	平成 23	
西方分署	普通ポンプ車	いすゞ	平成 22	
	水槽付ポンプ車	〃	平成 12	水槽 1,500 ℓ
	救急車	トヨタ	平成 20	高規格
	西方広報車	〃	平成 24	
岩舟分署	水槽付ポンプ車	いすゞ	平成 20	水槽 1,500 ℓ
	救急車	トヨタ	平成 19	高規格
	岩舟広報車	ニッサン	平成 20	

2 地域別消防水利設置状況

(単位:基)

種別 \ 地域	栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	岩舟地域	計
消火栓	1,413	437	379	295	150	309	2,983
防火井戸	236	105	43	4	-	-	388
防火水槽	562	175	234	105	41	171	1,288
プール	23	6	6	4	3	5	47
計	2,234	723	662	408	194	485	4,706

3 消防資機材

(単位:一式)

種 別	所属別	合 計	消 防 本 部	消 防 署					
				栃 木 市 消 防 署	大 平 分 署	藤 岡 分 署	都 賀 分 署	西 方 分 署	岩 舟 分 署
救 助 器 具	救命索発射銃	3	-	3	-	-	-	-	-
	油圧式救助器具	9	-	5	-	2	-	-	2
	ワイヤーはしご	1	-	1	-	-	-	-	-
	可搬式ウインチ	6	-	3	-	1	-	-	2
	救助マット	5	-	3	-	-	-	-	2
	排煙機	2	-	1	1	-	-	-	-
	自動ポンプ式油圧救助器具	2	-	1	-	1	-	-	-
	マット型空気ジャッキ	1	-	1	-	-	-	-	-
	耐熱防護服	6	-	6	-	-	-	-	-
	化学防護服 (防毒衣)	19	-	10	2	-	2	-	5
	放射線防護服	3	-	3	-	-	-	-	-
	放射線測定器	5	-	5	-	-	-	-	-
	可燃・有毒ガス測定器	8	-	3	1	1	1	1	1
	耐電用防護服	3	-	3	-	-	-	-	-
	潜水器具一式	4	-	4	-	-	-	-	-
	救命ボート	4	-	2	-	1	-	1	-
	船外機	1	-	-	-	1	-	-	-
エアーテント	2	-	2	-	-	-	-	-	
救 急 用 器 具	人工呼吸器	8	-	3	1	1	1	1	1
	陰圧式固定具	9	-	3	1	1	1	2	1
	バックボード一式	15	-	5	2	2	2	2	2
	血圧計	27	-	9	3	4	4	4	3
	血中酸素飽和濃度測定器	20	-	6	3	2	2	4	3
	血中酸素・一酸化炭素飽和濃度測定器	6	-	3	1	1	-	-	1
	吸引器	14	-	5	2	2	1	2	2
	喉頭鏡	27	-	9	5	5	2	3	3
	半自動体外式除細動器	8	-	3	1	1	1	1	1
	自動体外式除細動器 (AED)	8	1	2	1	1	1	1	1
	ベットサイドモニター	8	-	3	1	1	1	1	1
輸液用資機材(輸液ポンプを除く)	6	-	1	1	1	1	1	1	
器 破 壊	エンジンカッター	6	-	1	1	1	1	1	1
	エアツール	2	-	1	1	-	-	-	-

	ガス熔断器	1	-	1	-	-	-	-	-
	チェーンソー	3	-	2	-	-	-	-	1
	削岩器	1	-	1	-	-	-	-	-
	万能斧	14	-	6	2	-	1	1	4
呼吸保護具	空気充填設備	1	-	1	-	-	-	-	-
	空気呼吸器	59	-	28	7	7	6	6	5
	空気ボンベ	172	-	85	22	20	17	18	10
	酸素呼吸器	5	-	5	-	-	-	-	-
	簡易呼吸器	3	-	3	-	-	-	-	-
作業用器具	ホースカー	11	-	3	1	2	1	2	2
	連梯子	13	-	4	2	2	2	2	1
	かぎ付梯子	3	-	2	-	-	-	-	1
	照明発電機	17	1	6	2	3	1	2	2
	拡声装置	32	3	11	4	4	3	4	3
放水・発砲器具	簡易発泡器	5	-	2	1	1	1	-	-
	エアフォームノズル	10	-	5	4	-	-	-	1
	ピックアップノズル	4	-	1	-	1	1	1	-
	ラインプロポーションナー	4	-	1	1	1	1	-	-
	消火栓用スタンドパイプ	14	-	5	2	2	2	2	1
	分岐金具	29	-	15	3	3	3	3	2
	ホースブリッジ	13	-	3	2	2	2	2	2
	ロータリー管銃	3	-	1	-	1	1	-	-
	フォグガン	13	-	5	2	2	2	2	-
	山林火災用手動ポンプ	63	-	28	5	10	5	9	6
	山林火災用可搬式送水装置	6	-	2	1	1	1	1	-
	ウォーターチャージャー	6	-	2	1	2	-	-	1
	界面活性剤原液(ℓ)	2,820	-	1,340	380	340	280	260	220
その他の器具	超音波厚さ計	1	1	-	-	-	-	-	-
	ピンホール探知機	1	1	-	-	-	-	-	-
	膜厚計	1	1	-	-	-	-	-	-
	非接触温度計	6	-	1	1	1	-	1	2

4 消防相互応援協定関係

- (1) 東北自動車道消防相互応援協定
- (2) 特殊災害消防対策相互応援協定
- (3) 特殊災害消防相互応援協定
- (4) 消防相互応援協定

救急管理係

1 救急救命士養成

救急救命士は国家資格であり、救急救命処置は、医師の具体的指示の基に行われており、現在 39 人が救急救命士として認定されている。

(1) 救急救命士の編成状況 (単位:人)

消防本部	消 防 署					
	栃木市消防署	大平分署	藤岡分署	都賀分署	西方分署	岩舟分署
3	15	4	4	4	5	4

※課長及び分署長を除く。

(2) 救急救命士資格状況 (単位:人)

救急救命士資格別		試験別	合格者数 (平成 17 年以前)	新試験合格者数 (平成 18 年以降)	認定者・合格者数合計
救 急 救 命 士 認 定			13	26	39
資 格 内 訳	薬 剤 投 与 実 施 救 命 士 認 定		13		13
	薬 剤 投 与 連 携 確 認 試 験 合 格 者		13	18	31
	気 管 挿 管 実 施 救 命 士 認 定		13	10	23

※課長及び分署長を除く。

2 事後検証会

救急救命士は、地域メディカルコントロール (MC) の一環として、心肺停止傷病者に対し特定行為を行った事案、ドクターヘリを要請し傷病者をヘリに収容した事案等を中心に MC 医師による事後検証を受け、プロトコル (確実に救命処置を行うための手順) や厳守の重要性を再確認している。

・実施回数 22 回